

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">~2022</div> <b>社会福祉学特別研究Ⅱ</b>	担当教員	単位数	配当学年
	石附 敬	8単位	2年
		履修方法(授業形態)	
		<b>SR(演習)</b>	

#### ■事前に受講してほしい講義等

社会福祉学特別研究Ⅰ、高齢者福祉演習

#### ■授業のテーマ

修士論文の執筆

#### ■授業の目的

先行研究の知見を踏まえた上で、各自の研究テーマに基づく論文を作成する。

#### ■授業の到達目標

- 1) これまでの学修や実践経験、教員とのディスカッションなどを通じて、各自の関心を研究テーマとして設定することができる。
- 2) 研究の進め方及び研究倫理について理解する。
- 3) 国内外の文献収集の方法を習得する。
- 4) 先行研究のレビューを行い、得られた知見を整理し、自らが取り組む研究テーマの意義を説明することができる。
- 5) 量的又は質的方法を用いた調査の経験を通じて、研究計画の作成方法、調査の計画・実施方法を習得する。
- 6) 研究成果をプレゼンテーション及び論文として発表することができる。

#### ■授業の概要(内容)

- 1) 各自の関心から研究テーマを設定する。
- 2) 研究の進め方及び研究倫理について指導する。
- 3) 国内外の文献収集の方法について指導する。
- 4) 先行研究のレビューの方法及びまとめ方について指導する。
- 5) 研究テーマに応じた、研究方法の選択について支援する。
- 6) 研究成果をプレゼンテーション及び論文にまとめる支援をする。

#### ■授業の方法

個別指導

#### ■授業時間外学修(予習・復習等)

予習：計画に合わせて課題に取り組むこと。

復習：指導内容を踏まえて、研究及び論文の執筆を進めていくこと。

#### ■評価の方法・基準(評価割合)

取り組み姿勢(課題及び個別指導)30%、論文の内容70%

## ■履修上の注意事項

3回以上の面接指導と2回以上の通信指導受けること。3回のレジюме（構想レジюме・第1回中間レジюме・第2回中間レジюме）提出が必須。

## ■論文作成の流れとポイント（テーマ・内容等）

	ポイント
1	テーマ：研究テーマの検討① 内容：アイデアをいくつか出してみる。
2	テーマ：研究テーマの検討② 内容：アイデアを整理する。
3	テーマ：面接指導1 研究テーマの設定 内容：ディスカッションを行い、研究テーマを（仮に）設定する。
4	テーマ：文献収集① 内容：テーマに関連した文献を幅広く収集する。
5	テーマ：文献収集② 内容：テーマに関連した文献を幅広く収集する。
6	テーマ：文献レビュー① 内容：先行研究の検討を行う。
7	テーマ：文献レビュー② 内容：先行研究の検討を行う。
8	テーマ：研究課題の明確化 内容：先行研究の検討を通じて、テーマの絞り込みをする。
9	テーマ：研究計画の検討 内容：研究課題に対して具体的な方法について検討する。
10	テーマ：構想レジюме（研究計画）の作成と提出 内容：研究計画を作成し提出する。
11	テーマ：面接指導2 内容：研究課題に対する適切な研究方法について、指導を受ける。
12	テーマ：研究計画の修正 内容：面接指導での助言を基に計画を修正する。
13	テーマ：通信指導1 内容：修正した研究計画を基に指導を受ける。
14	テーマ：フィールドの選定 内容：調査対象の検討をする。
15	テーマ：第1回中間レジюмеの作成と提出 内容：これまでの到達点をまとめ、事務局に提出。
16	テーマ：調査方法の学修 内容：量的又は質的調査方法を文献から学ぶ。
17	テーマ：調査票の作成 内容：質問紙又はインタビュー項目を作成する。
18	テーマ：通信指導2 内容：フィールド及び調査票の内容について、指導を受ける。
19	テーマ：調査票の修正 内容：指導に基づき調査票を修正する。
20	テーマ：プレ調査の実施 内容：調査票を数人で試し、必要な修正を加える。
21	テーマ：調査の実施 内容：データを収集する。

	ポイント
22	テーマ：調査の実施 内容：データを収集する。
23	テーマ：データ入力 内容：データを入力、整理する。
24	テーマ：面接指導 3 内容：データ分析の方法について指導を受ける。
25	テーマ：データ分析 内容：データを分析し結果をまとめる。
26	テーマ：第 2 回中間レジュメの作成と提出 内容：これまでの到達点をまとめ、事務局に提出する。
27	テーマ：アウトラインの作成 内容：論文のアウトラインを作成する。
28	テーマ：論文を作成する。 内容：背景（先行研究の検討）、目的、方法、結果、考察を記述する。
29	テーマ：通信指導 3 内容：仮論文を基に指導を受ける。
30	テーマ：論文の提出 内容：修士論文を提出する。

#### ■教科書・テキスト

受講生の研究内容に応じて適宜指定します。

#### ■参考書・参考資料・参考 URL 等

アメリカ心理学会（著）、前田ほか（訳）（2011）『APA 論文作成マニュアル第 2 版』、医学書院  
平岡公一ほか（2013）『研究道 学的探究の道案内』、東信堂